

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

道の駅「さんさん南三陸」グランドオープン (気仙沼地方振興事務所地方振興部)

県内で 18 番目の道の駅となる「さんさん南三陸」が 10 月 1 日にグランドオープンします。この道の駅は、新たに整備された①防災・減災の学びと復興への感謝を伝える東日本大震災伝承施設「南三陸 3.11 メモリアル」、②観光案内所を併設した「南三陸ポータルセンター」、③高速バスや BRT 志津川駅の発着場となる交通バスターミナルと、④既存の「南三陸さんさん商店街」で構成されます。新しい建物は、「南三陸さんさん商店街」や「中橋」と同じ建築家の隈研吾氏がこれらと一体的なものとしてデザインされ、南三陸杉を使用したダイナミズムを感じさせる建物となっています。

道の駅「さんさん南三陸」にぜひお越しください。

「南三陸さんさん商店街」では、9 月より「キラキラ秋旨丼」の提供がスタートしています！
お立ち寄りの際は是非お食事どうぞ🍁



新たに整備された「さんさん南三陸」

みやぎ園芸振興大賞表彰の大賞を受賞しました (気仙沼地方振興事務所農業振興部)

令和 4 年 8 月 31 日に、本県の園芸振興に貢献している団体等を称える「第 4 回みやぎ園芸振興大賞表彰」が行われ、南三陸町の農業法人「株式会社グリーンファーマーズ・宮城」が大賞を受賞しました。

同法人代表の渡部氏は、東日本大震災をきっかけにボランティアとして南三陸町へ移住し、瓦礫撤去や物資配送を行うなかで、生産した野菜を被災者に提供したいという思いから、平成 25 年に同法人を設立し、遊休農地 3ha で十数種類の野菜栽培を始めました。現在では、地元雇用を活用しながら、8ha の農地でねぎを中心とした経営を行っています。

本表彰では、ねぎの作付面積や販売量が県内トップクラスであることや、地域雇用に貢献していることが高く評価されました。



みやぎ園芸振興大賞表彰受賞者

(株)グリーンファーマーズ・宮城：左から 1 人目)



(株)グリーンファーマーズ・宮城

渡部代表 (右) と妻の侑子さん

せりの栽培研修会を開催しました (気仙沼地方振興事務所農業振興部)

令和4年9月2日、せりの栽培技術習得を目的として気仙沼地方振興事務所と新みやぎ農業協同組合が共催で「令和4年度気仙沼・南三陸せり栽培研修会」を開催しました。研修は、座学研修と現地検討の2部構成で行い、座学研修はJA新みやぎ南三陸統括営農センターを会場に、現地検討は南三陸町のせり生産者である阿部高裕氏のほ場を会場に実施しました。

座学研修では、県農業・園芸総合研究所野菜部の高橋技師に講演いただきました。参加した生産者からは施肥量の質問等があり、栽培技術習得に向けた意識の高まりを感じました。

現地検討では、阿部高裕氏から栽培状況について説明いただき、生産者を中心に今後の栽培管理に関する意見交換が活発に行われました。

当部では、せりの生産拡大に向けて、関係機関と協力しながら生産者を支援していきます。



座学研修会の様子



現地検討の様子

南三陸田んぼアート「オクトパス君」(気仙沼地方振興事務所農業農村整備部)

東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町の廻館工区では、地権者や関係団体と協力しながら、ほ場整備を進めています。整備された田んぼの一部において、令和4年5月28日に、第5回南三陸田んぼアート田植え体験が開催されました。

南三陸田んぼアート田植え体験は、平成29年度から廻館営農組合の主催で毎年開催されていましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったことから、参加者募集による田植え体験は2年ぶりに開催されました。

今年度は南三陸を明るく元気にするキャラクター「オクトパス君」を描いた図柄となりました。



今年度の図柄



田植えの様子



ドローン撮影の「オクトパス君」